

2026年度版 製品審査 審査基準根拠

製品区分	大分類	中分類	小分類	重要度	申請区分
I群	擁壁工	ブロック積擁壁	通常タイプ	2	製I-擁壁-1

審査項目及び審査基準				根拠 (RPCA審査基準が満足する道路土工関係指針等)
中項目	小項目		審査基準	
荷重	自重	単位体積重量	無筋コンクリート 実際の単位重量であること。	『道路土工 擁壁工指針』4-2-2 自重
		裏込め土		
	土圧		「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 「道路土工擁壁工指針」および「道路PCa工指針」の表5-3参照	『道路土工 擁壁工指針』5-7-4 ブロック積(石積)擁壁
	載荷重 荷重の組合せ			
材料及び設計諸定数	積ブロック		JIS A 5371に適合していること。	JIS A 5371
	コンクリート	設計基準強度	製品: $\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること。	
			胴込め: $\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること。	『道路PCa工指針』
	裏込め土 土の単位体積重量 γ 内部摩擦角 ϕ 、土質		「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 「道路土工擁壁工指針」および「道路PCa工指針」の表5-3参照	『道路土工 擁壁工指針』5-7-4 ブロック積(石積)擁壁
	基礎地盤の土質定数	擁壁底面と地盤との摩擦係数 μ		
基礎地盤の許容支持力度				
許容応力度	積ブロック	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は「道路PCa工指針」によること。	『道路土工 擁壁工指針』4-5-2 コンクリートの許容応力度
		コンクリートの許容せん断応力度		
	胴込め、裏込めコンクリート部(無筋)	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		
		コンクリートの許容曲げ引張応力度 コンクリートの許容せん断応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 「道路土工擁壁工指針」および「道路PCa工指針」の表5-3参照	『道路土工 擁壁工指針』5-7-4 ブロック積(石積)擁壁
安定性の照査	滑動	安全率		
	転倒	合力の作用位置	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 「道路土工擁壁工指針」および「道路PCa工指針」の表5-3参照	『道路土工 擁壁工指針』5-7-4 ブロック積(石積)擁壁
	支持力	許容支持力度		
部材の安全性の照査	解析方法		「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 「道路土工擁壁工指針」および「道路PCa工指針」の表5-3参照	『道路土工 擁壁工指針』5-7-4 ブロック積(石積)擁壁
	構造耐力			
構造細目(製品)	水抜き孔	水抜き孔の有無	擁壁に2~3m ² に1カ所の割合で内径5~10cm程度水抜き孔を設置していること。(見え高さ)	『道路土工 擁壁工指針』5-9-2 表面排水工及び裏込め排水工(2)裏込め排水工(6)水抜き孔
		水抜き孔の径、配置状況		
その他の仕様	擁壁の根入れ	根入れ深さ Df	基礎コンクリートからブロック1個以上確保されていること。	『道路土工 擁壁工指針』5-3-2 直接基礎の擁壁における擁壁自体の安定性の照査(2)根入れ深さ
		設計基準強度		『道路土工 擁壁工指針』4-4-2 コンクリート
	基礎コンクリート	厚さ	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は設計・施工要領等に仕様の記述があること。 「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [53] 7.1 ブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[55] 7.2 設計方法、[56] 7.2.2 PCaブロック積擁壁の配置上の留意点及び[54]表7.1-1 参照	『道路PCa工指針』
		基礎材	使用材料	『道路土工 擁壁工指針』5-11-2 基礎工
	排水工	排水工の形状	「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [28] 4.7排水工参照	『道路土工 擁壁工指針』5-9-2 表面排水工及び裏込め排水工
施工	施工マニュアル	施工の手順		
		施工上の留意点	施工マニュアル等に記述があること。 「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 7.3 施工方法及施工上の留意点参照	『道路PCa工指針』
		施工上の適用条件		
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57]、第3編 製造編 [20] ~ [23] 第3章 検査参照	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置		JIS A 1108 『JIS Q 1012』B.3 製造工程の管理
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置		
材料の品質	品質	使用する材料の品質	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [6] ~ [12] 第2章 道路PCa製品の製造 2. 3 材料の受入と貯蔵参照	『JIS Q 1012』B.2 原材料の管理
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置		
	貯蔵	貯蔵の管理方法		